学校番号	218

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	(学)漢字練習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	「意味から学ぶ常用漢字」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・就職試験、入試だけでなく、高校卒業後も必要となる漢字を徹底的に学習します。
・１時間集中して書き取りをしてもらいます。
・定着度を測る指標として、漢字検定を最低でも１回は受けなければなりません。
・漢字検定合格を意識して、検定と同じ形式の問題も繰り返し練習します。
・平常点の割合が高く、出席状況が成績に大きく影響します。欠席しないことと、授業時間の取り組みが重要となります。

2　学習の到達目標

・書き取りの反復を通して、漢字の知識を増強し、語彙の強化を図る。
・場面や状況を分析し、適切な表現ができるようにする。
・漢字に興味をもち、生涯を通して漢字に親しむ態度を育んでいる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の確認	行動の観察	行動の観察 行動の確認 記述の確認 （練習プリント）	行動の観察	行動の観察 記述の確認 （練習プリント） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	漢字の書き取り	漢字検定4級の漢字 (必要に応じて3級も) 教材: 「意味から学ぶ常用漢字」 練習プリント	○	○	◎		○	a:漢字に対して興味をもち、書く相手や目的を実現するのにふさわしい語句を考え、適切に選ぼうとしている。 b：必要なことを、間違いなく、過不足なく聞き取っている。 c:読み手を意識した適切な用語で書くことができている。 e:常用漢字の音訓を正しく使い、正しく書いている。	a：行動の観察 b：行動の観察 c：行動の観察、行動および記述の確認 e：小テストおよび定期考査
	漢字検定対策	漢字検定対策問題演習 教材: 「意味から学ぶ常用漢字」 漢字検定過去問題 プリント	○	○	◎	○	○	a: 漢字に対して興味をもち、検定問題の解答に適切な漢字を考えようとしている。 b：必要なことを、間違いなく、過不足なく聞き取っている。 c：検定問題の解答を熟考し判断して適切な漢字を選んでいる。 d：語句や表現に注意して文脈を捉え、設問の意味を正確に過不足なく読み取っている。 e:常用漢字の音訓を正しく使い、正しく書いている。	a：行動の観察 b：行動の観察 c：行動の観察、行動および記述の確認 d：行動の観察 e：小テストおよび定期考査
2	漢字の書き取り	漢字検定4･3級の漢字 教材: 「意味から学ぶ常用漢字」 練習プリント	○	○	◎		○	a:漢字に対して興味をもち、書く相手や目的を実現するのにふさわしい語句を考え、適切に選ぼうとしている。 b：必要なことを、間違いなく、過不足なく聞き取っている。 c:読み手を意識した適切な用語で書くことができている。 e:常用漢字の音訓を正しく使い、正しく書いている。	a：行動の観察 b：行動の観察 c：行動の観察、行動および記述の確認 e：記述の分析

	漢字検定対策	漢字検定対策問題演習 教材: 「意味から学ぶ常用漢字」 漢字検定過去問題 プリント	○	○	◎	○	○	a:漢字に対して興味をもち、検定問題の解答に適切な漢字を考えようとしている。 b：必要なことを、間違いなく、過不足なく聞き取っている。 c: 検定問題の解答を熟考し判断して適切な漢字を選んでいる。 d：語句や表現に注意して文脈を捉え、設問の意味を正確に過不足なく読み取っている。 e:常用漢字の音訓を正しく使い、正しく書いている。	a：行動の観察 b：行動の観察 c：行動の観察、行動および記述の確認 d：行動の観察 e：記述の分析
3	漢字の書き取り	漢字検定3・準2級の漢字 教材: 「意味から学ぶ常用漢字」 練習プリント	○	○	◎		○	a:漢字に対して興味をもち、書く相手や目的を実現するのにふさわしい語句を考え、適切に選ぼうとしている。 b：必要なことを、間違いなく、過不足なく聞き取っている。 c:読み手を意識した適切な用語で書くことができている。 e:常用漢字の音訓を正しく使い、正しく書いている。	a：行動の観察 b：行動の観察 c：行動の観察、行動および記述の確認 e：小テストおよび定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。